

チャレンジする人を応援する鶴ヶ島に

市民・団体 インタビュー

太田ヶ谷の森 グラウンドワーク



市議会



太田ヶ谷の森グラウンドワークによる植樹作業

「豊かな自然を守り、次代に「なきたい」という思いの方々によって発足した、太田ヶ谷の森グラウンドワーク。
令和5年6月30日（金）に、太田ヶ谷の森グラウンドワークの方々にインタビューを行いました。



フラワーレンズおたがや、大谷川源流の会、鶴ヶ島の自然を守る会、NPO法人つるがしま里山サポートクラブ、サザン地域支え合い協議会と鶴ヶ島市とのパートナーシップで構成され、鶴ヶ島グリーンパークや地域自然環境の保全・活用の充実に目指しています。

●日頃の活動から思うこと

活動の大半が草刈りや清掃などの作業ですが、皆で美味しいおにぎりを食べたり、楽しみながら活動しています。昆虫や水辺の生き物の観察や森での各種イベントも開催しており、子どもたちに自然との共生を学んでもらい、森を大切にしたいと願います。また、市が目指している「ゼロカーボンシティ」へ向け、私たちの行っている植樹や自然環境保全活動で貢献できると考えています。

●保全活動の継続へ

鶴ヶ島グリーンパークの保全・活用の継続には、多くの費用と人材が必要です。地域住民が主体となり、行政と地元企業と協力し、地域全体で取り組むことが重要です。また、大谷川源流地域の太田ヶ谷の自然保全だ

けに限らず、宅地開発の進む地域などの大谷川沿いの生態系の保全も大切だと感じています。

●議員に一言

身近にいる議員さんに、小さいことも気軽にお願いしています。もっと頻繁に参加して頂けると嬉しいですが（笑）。

私たちも住みよい街づくりへ貢献したいとの思いで市民活動を行っています。その活動を様々な面で応援していただきたいです。これからも市民活動が盛り上がり、継続していける「土壌作り」を進めてほしいです。

●自然とまちの調和を目指して

鶴ヶ島市は商業施設や豊かな自然もあり、調和のとれた住みやすいまちです。交通面でも恵まれ企業の進出も見込まれます。特色を生かしたまちづくりと更なる発展を期待しています。

●参加したメンバーの方々

島崎洋さん、小沼英二さん、平賀やよいさん、松本忠育さん、内野泰司さん、鈴木勝行さん、杉原行雄さん、小澤邦彦さん、内野育雄さん

市議会は市民の声を直接聞きに出かけます！

編集 後記

農業大学校跡地に緑と水辺の自然豊かな「太田ヶ谷の森」があります。

現在、この自然環境を保全していくために、環境ボランティアの方々が市と連携しながら、植樹だけでなく、ホタルの放虫や夜の昆虫観察会など、自然を生かした様々なイベントなどを行っています。

都市化が進む一方で、農地や緑地、水辺など、武蔵野の原風景も残されている都市と自然が調和する暮らしやすいまち、鶴ヶ島。次世代の子ども達のためにこうした自然環境を残していくことは、大切なことだと思います。

(広報広聴委員)

- 委員長 小林ひとみ
- 副委員長 今野雄一
- 委員 太田忠芳
- 委員 小川茂
- 委員 村上信吉
- 委員 福島恵美
- 委員 高篠雅洋
- 委員 内野嘉広

(内野)